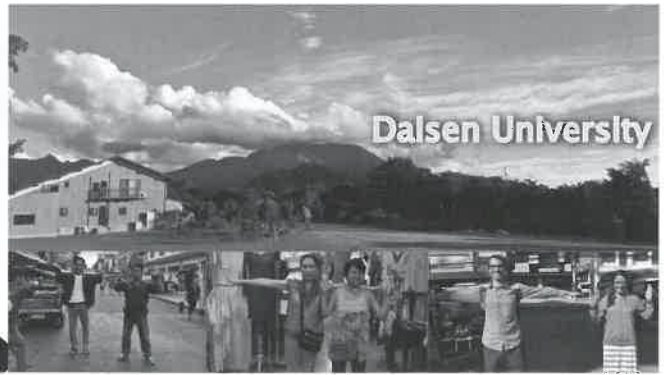


動きながら考える日記

「視野を広げよう」

地域おこし協力隊奮闘記

Vol. 10



このたび、「だいせん大学」視野が広がる学部」という学びの場をつくりました。世界を知る一流の講師を招き、町内にいながら世界で起きていること、世の中のことを学び、参加者の視野が広がるようにしたいと考えたからです。

現在、参加者は社会人が大多数ですが、想いとしては、進路について考える中学生や高校生に一人でも多く参加してほしいと考えています。

夢や目標は大切だが・・・

この企画を始めようと思ったきっかけは、高校生の従兄弟との会話からでした。進路について尋ねてみたところ、「社会福祉士」が将来の夢で、そのための勉強ができる大学を目指すという話でした。掘り下げて聞いてみると、なんとなく人のためになりたいという漠然とした理由ばかりで、具体的にモデルとなる人が身近にいるわけでもないようでした。

この話を聞いたとき、私は学生時代の自分を思い出しました。私も、人のためになる仕事に就きたいと弁護士を目指して法学部のある大学へ進学しました。進学後もアルバイトや遊びはほぼどこにも、すぐに司法試験を勉強するゼミに所属し、勉強に集中しました。当時の司法試験は、合格するまでに10年は覚悟しなければいけないと言われるほど難しいものでした。

ある年、私の指導をしてくれた優秀な先輩が1次試験で不合格になった時に、立ちはだかる壁の高さを実感しました。これは他のものを捨てて一点集中する覚悟が必要だと。しかし、そこまでして弁護士を目指す理由が、自分にはないことに初めて気がつきました。「人の役に立ちたいのはなぜなのか」「他の道ではなく、弁護士でなければダメなのか」。それまで深く考えたこともありませんでした。

結局、私は大学3年時に司法試験をあきらめて別の進路へ進みました。あの勉強の3年間が無駄だったとは思いませんが、貴重な大学時代にもっと別の挑戦をしていたらと今でも思うのです。

視野を広げることの意味

もちろん、夢や目標を持つことはとても大切なことです。しかし、それがしつかりした地盤の上にある目標でなければ、困難が立ちはだかるときに、あっさり吹き飛んでしまいます。

では、その目標の地盤を固めるにはどうしたらいいのか？それが「視野を広げる」ということだと思えます。視野が広がるということは、選択肢を知ることです。世の中の数ある選択肢を知って吟味をし、決断をする。そうして自分が納得して目標を選択できれば、道中に待ち構える困難にも耐えうる突破力を持つ

てます。また、他人に対しても説得力を持ち、共感や応援を呼ぶ力となります。これは、生き方、働き方、全てに共通することだと思えます。

今は、きっかけさえあれば、後は一人で何でもインターネットで調べて学べる時代です。「だいせん大学」のような場を通じて、町内の中学生・高校生に視野が広がる実感を持ってもらい、今後の進路選択の材料にしてほしいです。

地域おこし協力隊・小谷 英介

だいせん大学～視野が広がる学部～

「世界の未来を読み解く10の流れ」

- ◆日程 ・第1回 1月25日 (日) 〈終了〉
- ・第2回 3月15日 (日)
- ・第3回 3月29日 (日)

- ◆講師 菅谷亮介氏
- ◆会場 中山温泉・生活想像館研修室
- ◆参加費 一般：3,000円/回
- 中学生・高校生：300円/回

※詳細はお問い合わせください。

- ◆申込・問い合わせ先 (080-2942-6517)
- 企画情報課・未来づくり戦略室 (担当：小谷・薮田)

第2回からの参加も歓迎します